

「羅針盤」vol.11

校長 白岩博明



高等学校卒業証書授与式 式辞

いつになく寒暖の差が激しかった冬も終え、彩りも鮮やかな芽吹きの子供の季節を迎えた今日のこのよき日、卒業証書授与式を挙げていきますことは、誠に嬉しい限りでございます。

ただ今、卒業証書を授与しました166名の皆さん、卒業、おめでとうございます。

保護者の皆様、高いところからではございますが、ご息女のご卒業、誠にありがとうございます。我が子の成長の姿に、感慨深い想いがこみ上げてくることと思います。心からお祝い申し上げます。また、この3年間、本校の教育にご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。そして、本日の卒業式を挙げるにあたり、ご多用の中をご臨席いただきました来賓の皆様、心から御礼申し上げます。

卒業生の皆さん、高校生活3年間を振り返ると、どんなことが思い浮かんでくるでしょうか。旧校舎の教室や授業、行事、部活動などの学校生活のこと、友だちや家族と過ごした日常の一コマなどでしょうか。それぞれの場面で自分を見つめ、さまざまな形で自分自身を表現してきました。どうしようもなく心のときめきがやまぬときがあったでしょう。あるいは、ひどく辛く、涙にくれたときもあったでしょう。その一つ一つは、今しかできない、その時にしかできなかった貴重な経験であり、「必要なこと」、だっただけに違いないでしょう。それらは、皆さんの心を成長させ、人としての歩みを確かなものにしたのだと思います。

1年限り、私は皆さんの軌跡にかかわることができました。女子生徒だけの学校に赴任するという戸惑いを払拭してくれたのは、皆さんの圧倒的な明るさと笑顔、湧き出るエネルギー、仲間を想う心安さでした。そんな皆さんの姿に、何度、心を揺さぶられたことか。例えば、合唱祭。例えば、体育祭。例えば、面接指導・・・。「鈴峯」、いいよ、すごいよ、私の赴任を気にかけてくださったみなさんへ、こう報告しました。

今できるその瞬間を大切にしよう、傍らの大切な友とこの瞬間を輝こう、という純粋な想いが、皆さんの成長の足跡なのです。皆さんからいただいた数々の情感は、決して忘れることがないでしょう。皆さんとの「縁」は、私の、本校の宝物となりました。この出会いに感謝です。ありがとう。

今、世界は、グローバル化による競争原理と情報ネットワークの拡大によって、大きく変化しようとしています。人工知能などの合理的な科学や技術が席卷し、私たちの日常生活も加速度的に変わろうとしています。こうした変化にあつてこそ、他者の見えない心の動きを受け容れられる人になって欲しいのです。いわゆる、「利他の心」というものかもしれません。変化する社会、この心こそが必要な時を迎えています。

幸い、皆さんはこの「鈴峯」でこの想いを磨きました。この想いを決して忘れず、いよいよ飛び立とうとする新たなステージに向かってください。やがて、次なるステージに進むチャンスが到来するでしょう。多様な社会に身をもって気づかされ、多彩な人の存在と生き方を知ることになるでしょう。「利他の心」をもって、そのチャンスをつかんでください。皆さんならそのチャンス、つかめます。なぜなら、皆さんは、「鈴峯」の卒業生、「鈴峯の乙女」だからです。

いよいよ4月から学校名が変わります。皆さんは、「鈴峯女子高校」の最後の卒業生となりますが、皆さんが命を吹き込んでくれたこの校舎に、また、いらしてください。成長した姿を見せに来てください。

そして、皆さんにとって誇れる学び舎であり続けるよう、本校は、躍動的な学びの場であると共に、「報恩感謝・実践」の想いに満ちる学校であり続けますから。

結びに、卒業生のみなさんの前途に幸多きことを心から願うと共に、保護者の皆様、ご来賓の皆様のご健勝を祈念して式辞といたします。

2019年3月1日